

令和6年度DX関連主要事業

本町のDX推進計画の基本方針「1. いつでも、どこでも、だれでも利便性を実感、2. ICTを活用した行政業務の効率化、3. 地域のデジタル課題解決」を促進するため、以下の新規事業に取り組む。

1. いつでも、どこでも、だれでも利便性を実感

- ① 統合型GISの検討 【DX推進WG（建設課、まちづくり推進課、税務課）】
道路、都市計画、河川など多くの部署で活用可能な多数の地図データを複数の部署で共有できるよう検討を進める。
- ② 窓口でのキャッシュレス決済の導入 【デジタル化推進室】
窓口でキャッシュレス決済を導入し、支払手数料について現金以外の決済を可能とする。
- ③ 書かない窓口等の推進 【DX推進WG（住民課、税務課、保険課、福祉課、子ども応援課）】
デジタル技術を活用した、住民にとって利便性が高まり、職員にとって業務の効率化が図れる窓口の実現に向けて検討を進める。

2. ICTを活用した行政業務の効率化

- ④ 文書管理システムの検討 【DX推進WG（総務課）】
紙の書類へ押印する決裁をパソコンなどにより電子データ上で行うなど文書処理の見直し検討を行う。
- ⑤ ビジネスチャットツールの導入 【デジタル化推進室】
ビジネスチャットツールを導入し、職員の働き方改革・業務改善を推進する。
- ⑥ デジタル採点システムの導入 【学校教育課】
中学校でデジタル採点システムを導入し業務効率化を図る。

※デジタル採点システムについて

生徒の答案用紙をPDF化し、PCで採点、校務支援システムへ点数の登録等ができるシステム。

⑦ 電子入札システムの導入 【DX推進WG（総務課）】

入札業務を電子化し、職員・契約事業者双方の業務改善を推進できるよう検討を進める。

⑧ クラウドファンディングの検討 【デジタル化推進室】

クラウドファンディングを活用し、効率的な財政運用ができるよう調査、利用を行う。

⑨ 自治体情報システムの標準化・共通化 【標準化WG（各業務担当者）】

令和7年度までに、標準準拠システムへの円滑な移行ができるよう、移行支援の業務委託を行う。令和6年度はシステム設計・構築を行う。

⑩ BPR研修の実施 【デジタル化推進室】

職員がBPR（業務改革＝実際の業務（フロー）から課題を見つけ出して業務を変えていく）の考え方を理解し、DXを推進するため、BPR研修を行う。

3. 地域のデジタル課題解決

⑪ 広報媒体のデジタルブックの導入 【DX推進WG（企画課）】

とよやま暮らしの便利帳とポケット情報誌の2つの広報媒体をデジタルブック化する。

※デジタルブックについて

パソコンやスマホで印刷物を実際に読書をしているかのような感覚で読み進めることができるアプリケーション。

⑫ オンデマンド交通システムの実証実験 【DX推進WG（まちづくり推進課）】

デマンド交通システム（タクシーを活用し、電話等により事前予約を受け、定時運行ではなく利用者のニーズに合わせた運行）の導入の可能性や諸課題を検証することを目的に実証運行を行う。